

板柵土留 鋼管杭（打込みタイプ）施工の手順-1/2

警告

・可燃性ですので、火を近付けないで下さい。

注意

・擬木は加工時（屋内）と施工時（屋外）の温度差によって伸縮し、全長が変化します。施工直前まで覆いを掛ける等、直射日光に当てないように配慮して下さい。

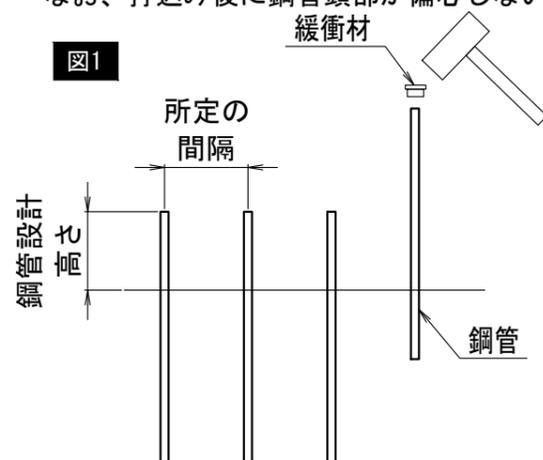
1. 鋼管の打設

打設は、現場状況に合わせ、人力（大ハンマー・油圧式杭打機等）、または重機（バックホウ等）のいずれかでを行います。【写真1】

水系を張り、ラインに合わせて所定の間隔及び設計高さまで鋼管を打設します。

【図1】

なお、打込み後に鋼管頭部が偏心しないよう、打設途中に鉛直を確認して下さい。



注意

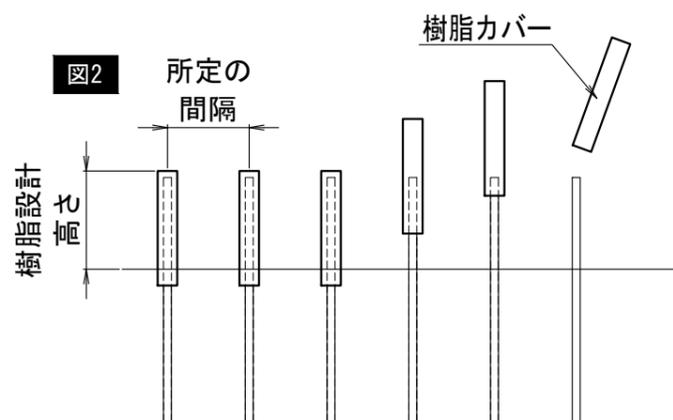
打込み時に鋼管頭部が変形しないよう、保護材を当てて打込んで下さい。



【写真1】鋼管打設例（大ハンマー・杭打機・バックホウ）

2. 樹脂カバーの取り付け

【図2】のように樹脂カバーを鋼管に被せ、頭部のレベルを合わす。【写真2】



【写真2】樹脂カバー取付後

準備工具類

1. バックホウ、油圧式杭打機、大ハンマーのいずれか
2. インパクトドリル #2プラスドライバービット
3. 小型転圧機
4. 丸のこ
5. 水平器
6. 木槌またはハンマー類

3. 横板の設置

地盤レベル確認後、横板を配置し、コーススレッド57Lで杭に固定します。【写真3】

横板継ぎ目部は目地をとり、1スパン 2,020を標準とします。【図3】

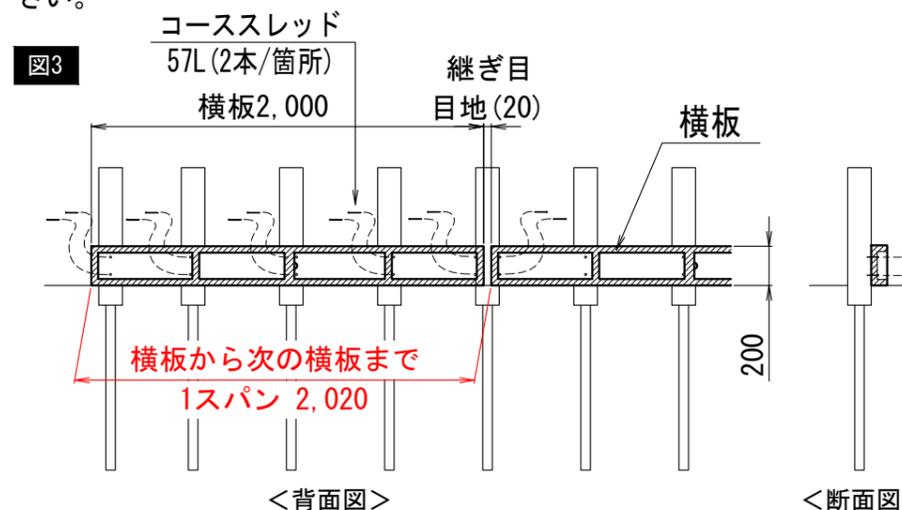
杭の正面に目地がくるように横板を配置し、ビスを斜めに打ち込みます。【写真4a・図4a】

長さ調整が必要な場合は、横板を丸のこで切断し、縦リブはないが標準スパン同様にビス固定します。

【写真4b・図4b】

同じ手順で2段目以降の横板を固定します。

※最上段の横板を設置の際は、支柱上部と最上段横板のレベルが一致するかビス固定前に確認して下さい。



【写真3】横板ビス固定

図4a

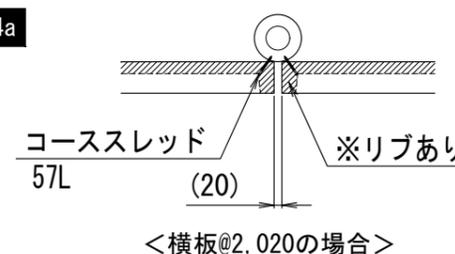
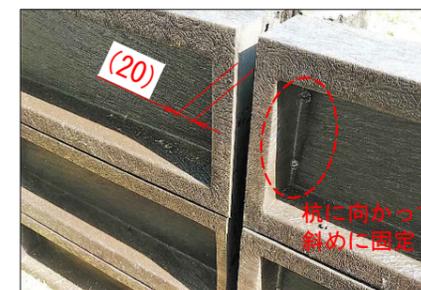
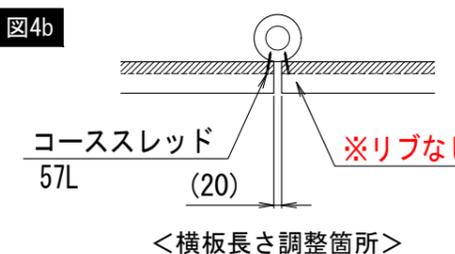


図4b



【写真4a】継ぎ目部拡大（標準品）



【写真4b】継ぎ目部拡大（カット品）

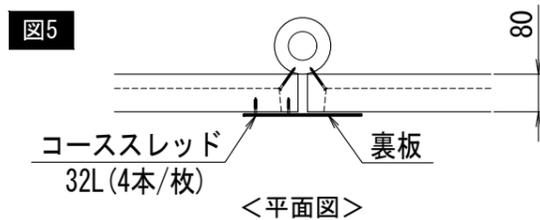
4. 裏板の設置

1段ずつ横板の連結部に裏板配置し、横板のリブ部分にコーススレッド32Lで固定します。

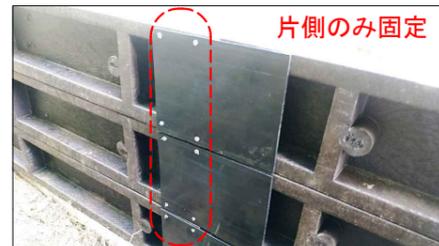
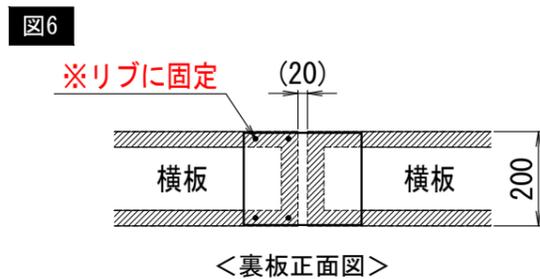
【図5・写真5】

このとき、ビスは片側の横板に4点固定し、反対側の横板には固定しないで下さい。

【図6・写真6】



【写真5】裏板ビス固定



【写真6】裏板固定完了

5. 吸出し防止材の取付

吸出し防止材は横板の連結部背面に取付けます。

裏板を設置した側から杭のある側に吸出し防止材を100mm程度被せ【写真7】、横板の内側に入り込むように押し込みながら取付けます。【写真8】

※吸出し防止材は壁高に関係なく共通サイズの為、長さが余る場合は裏板側に垂らして下さい。



【写真7】吸出し防止材（杭側）



【写真8】吸出し防止材（裏板側）

6. 背面土の転圧・締め

背面には設計の土質定数を満足した盛土材（埋戻材）を投入し、【写真10】のように吸出し防止材がめくれないよう押さえながら転圧し、締め固めます。

横板最上段は上端リブ下まで覆土し、敷き均した後に吸出し防止材を【写真11】のように土側に折返します。

最後に裏板上部まで土をかぶせ、転圧します。【写真12】

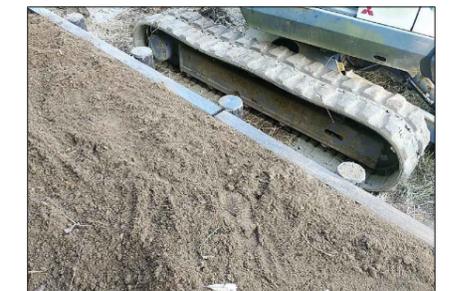
※転圧の際は、所定の強度が出るように、十分転圧して下さい。



【写真10】背面土転圧



【写真11】吸出し防止材折返し



【写真12】天端まで覆土

5. 完成

